

竜岩自然の家 主催講座

けんこう  
健康レシピ

野外でできるごはんやおやつを作ります。

- 日時 12月1日(日) 10時～14時
- 場所 竜岩自然の家 大根地 炊飯棟ほか
- 内容
  - ・焼きおにぎり
  - ・豚汁
  - ・ミニどら焼き
  - ・お楽しみ焼き芋
- 対象・定員 市内在住の人・先着20人  
※小学生以下は保護者同伴
- 材料費 500円/1人
- 申し込み方法 竜岩自然の家窓口か、電話にて受け付けます。
- 申し込み期間 11月1日(金)～11月17日(日)



【「健康レシピ」講座のようす】

や ちょうかん さつ かい  
野鳥観察会

参加費  
無料

竜岩自然の家周辺の四季折々の野鳥を観察。  
雨天時は室内で野鳥についての学習など。

- 日時 毎月第4日曜日9時30分～12時  
11月の日程 11月24日(日)
- 場所 竜岩自然の家と  
その周辺
- 対象 どなたでも(2時間  
程度歩ける人)  
※申し込み不要  
(当日受付)



申し込み・問い合わせ先

竜岩自然の家 (市内柚須原 373-1)  
☎(921)3455

※問い合わせは、休所日(毎週水曜日)を除いた  
9時～17時の間にお願いします。



「竜岩自然の家主催講座」の最新情報は  
市のホームページでも公開しています。

ちくしの文化講座・歴史講座

じんぶつれきし こうざ うえすぎ ようざん  
人物歴史講座「上杉 鷹山」

～受次ぎて国の司の身となれば  
忘るまじきは民の父母～

歴史は私たち現代人の道標。人となりをよみがえらせる名人が、先達の生き方からたくさんのヒントを語ります。

11月は、江戸時代中期の米沢藩主の「上杉鷹山」弱冠17歳で家督を継ぎ、傾きかけた藩を建て直すため、財政改革、産業開発ほか、教育推進に尽力した生涯を紹介します。

- 日時 11月17日(日)  
10時～12時
- 場所 生涯学習センター  
3階 視聴覚室  
(市内二日市南1-9-3)
- 受講料 510円
- 対象・定員 成人・70人  
(学生歓迎)
- 語り手 今長谷 照子さん  
(元篠栗町図書館副館長)

☆事前申し込みは不要です  
(当日受け付け)



【画】今長谷照子



【講座のようす】

問 生涯学習課「ちくしの文化講座」係  
☎(918)3535(代表)  
(市内二日市1-9-3 生涯学習センター内)

【受け付け時間】

平日(月～金曜日)の9時～17時(休館日を除く)



「ちくしの文化講座」の最新情報は  
市のホームページでも公開しています。

ちくしの文化講座

検索



筑紫野市青少年育成市民会議

しみん かいさい  
市民フォーラムを開催します

入場  
無料

[テーマ] 筑紫野市人権尊重のまちづくりスローガン「自分が人からされたり、言われたりしていやなことは、自分は人にしない、言わない」について、今私たちが思うこと

11月は内閣府が定める「子ども・若者育成支援強調月間」です。この取り組みの一環として、筑紫野市青少年育成市民会議主催で「市民フォーラム」を開催します。今年度も、市内5中学校の生徒会役員が集う「五中連合体交流会」で検討したテーマで、市内5中学校と4高校のパネリスト18人が討議し、来場者を交えて意見交換を行います。中高生の熱い思いを聴きにきませんか。

- 日時 11月16日(土) 10時～12時30分  
(受付 9時30分～)
- 場所 筑紫南コミュニティセンター(市内原田4-16-6)
- 対象 どなたでも (事前申し込み不要)
- 内容 上記テーマをもとにしたパネルフォーラム
- パネリスト 市内5中学校と4高校(※)の生徒代表の皆さん

(※) 二日市中学校、筑山中学校、筑紫野中学校、天拝中学校、筑紫野南中学校、筑紫高等学校、武蔵台高等学校、九州産業高等学校、福岡常葉高等学校



【写真は昨年の市民フォーラムの様子】 発表者(市内の中高校生代表)、来場者との意見交換、発表者(市内の中高校生代表)と市青少年育成市民会議の皆さん

問い合わせ先

筑紫野市青少年育成市民会議事務局

(生涯学習課 生涯学習推進・青少年担当) ☎(918)3535(代表)

☆筑紫野市青少年育成市民会議は市内43の機関・団体および13人の個人会員で組織された団体です。

「大人が変われば子どもも変わる」というテーマのもと、青少年の健全育成を図るために定期的に会議や研修会を開催し、加盟機関・団体間の情報共有や会員の資質向上などに積極的に取り組んでいます。

[筑紫野市人権尊重のまちづくりスローガン]

「自分が人からされたり、言われたりして いやなことは、自分は人にしない、言わない」

平成29年度筑紫野市総合教育会議にて、子どもにも大人にも理解でき、実践に移せるスローガンとして決議されました。